

新会長に池元氏選出



池元清二新会長

県コンクリート補強・補修協会(今別府英樹会長)は20日、鹿児島市のマリナパレスかごしまで15年度通常総会を開き、新年度事業計画を決めたほか、役員改選では新会長に池元清二氏(今別府産業㈱)を選出した。

総会の冒頭、今別府会長は「当協会も設立から2年が経過したが、景気を下支えする建設業界をはじめ厳しい現状がある。そのような中において、会員皆様の協力をお願いする」と協力を頂きたい旨を述べた。



事業計画などが審議された総会
＝鹿児島市のマリナパレスかごしまで

ながら自分達で需要をつくりだし、提案していくことが必要」と挨拶。

引き続き、議長に今別府会長を選出し議事審議に入り、14年度事業・収支決算報告した後、任期満了に伴う役員改選に移り新会長に池元清二氏を選任した。次いで、池元氏が入り、14年度事業・収支決算報告した後、任期満了に伴う役員改選に移り新会長に池元清二氏を選任した。次いで、池元氏が入り、14年度事業・収支決算報告の後、任期満了に伴う役員改選に移り新会長に池元清二氏を選任した。

県電気工事業工組総代会 提案型技術営業を展開

県電気工事業工業組合(中島博夫理事長)は20日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで15年度第43回通常総代会を開

き、需要家へ直接提案する「提案型技術営業」の展開や組合員の団結と過当競争の排除などを盛り込んだ新年度事業計画を決めた。

総会では冒頭、中島理事長が「非常に厳しい経済状況の昨今ではあるが、組合員の更なる一層の団結、協力をお願いしたい」と挨拶。組合功労者表彰に続いて、秋丸紘一氏(鹿児島支部)を議長、副議長に宮後秀雄氏(電九協支部)を選出し、議事に入った。



新年度事業計画等を審議した総代会
＝鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで

議案審議では、15年度事業計画案並びに収支予算案など7号議案全てを執行部原案通り可決承認した。

新年度事業計画は、需要家へ直接提案する「提案型技術営業」を推進していくほか、①組合員の団結と過当競争の排除②諸官庁に対する分離発注並びに地元業者優先育成

第40回 協同組合 鹿屋建友会



活発に審議した節目の第40回総会
＝鹿屋市のさつき苑で

地元業者の優先指名を

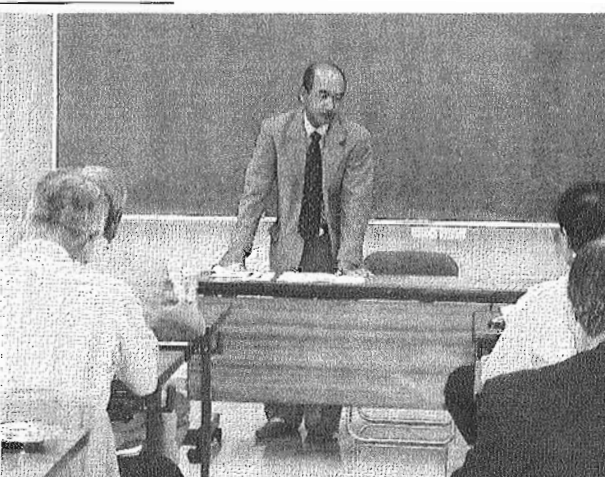
協同組合鹿屋建友会(小林正義理事長)は20日、鹿屋市のさつき苑で第40回通常総会を開き、地元業者の優先指名、工事分割、大型JV促進施工、平準化の推進、発注の推進の要請③経営基盤の強化と技術の向上などを盛り込んでいた。

表彰者と新入会員は次の通り。

【組合功労者表彰】春山紀生(親栄電設) 倉園通生(倉園電設) 三浦哲男(株大鹿電業) 東輝美(東電業) 池下学(でんきのインテック) 大石長久(株大石電機設備工業) 久木野信明(南久電社) 中村徳蔵(マルニ電機) 瀬戸口邦博(瀬戸口電設) 上谷彬(上谷電気商会)

【新入会員】折田時計電器店(折田範志) 下川電設工業(下川床蔵)

松元町建設業同友会総会 事業量確保へ良い成果品



新年度事業計画等を決めた総会
＝松元町の平之岡健康センターで

計画を決めた。

総会では、初めに町田会長が「公共事業が減る中で、県や町の事業量確保のために良い成果品を造るよう心掛けていきたい。当会の会員数も平成13年度は12社だったが、

保のために良い成果品を造るよう心掛けていきたい。当会の会員数も平成13年度は12社だったが、

名瀬市水道事業協組総会 活用 事業運営の効率化

名瀬市水道事業協組(永田豊人理事長)は20日、名瀬市の奄美サンプラザホテルで第31回通常総会を開き、14年度決算関係書類承認や15年度事業計画・収支予算案等について話し合った。

初めに永田理事長が「奄美は本土と比較すると技術面で立ち遅れている感が否めない。この厳しい経済状況を乗り切るために、個々人で発注したほか、「個々人で発注したほか、」と挨拶で述べた。

「個々人で発注したほか、」と挨拶で述べた。

た。

議事では14年度決算や15年度予算案等を全員一致で承認したほか、事業計画では諸官庁への分離発注の陳情と請願、関連団体との協調連携等を軸とする公共工事受注確保対策や各種講習会の実施、官庁及び諸団体の一斉清掃への協力・参加や組合単独のボランティア実施について確認した。また奄美復興50周年でのボランティア等についても組合で協力できるものがあるれば別途実施する方向で検討することも決めた。